



国土交通省東北地方整備局

Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表



平成30年11月19日
福島河川国道事務所

平成10年災害から20年 「災害の教訓を語り継ぎ、次世代につなぐ」座談会・パネル展 ～阿武隈川改修100周年事業プレイベント第3弾～

- 今年（平成30年）は平成10年8月末洪水及び9月台風5号洪水による甚大な被害が発生した「平成10年災害」から20年の年にあたります。
- 「平成10年災害」を忘れてはならない教訓として次世代に語り継ぎ、大規模氾濫時の避難を含めた今後の対応について考えるきっかけづくりを目的として、座談会・パネル展を開催いたします（別紙1）。
- 11月21日（水）の伊達地区を皮切りに、順次、沿川の各地区で開催いたします。

【伊達地区 座談会】

1. 日時：平成30年11月21日（水）（9：30～11：30）
2. 場所：伊達市保原市民センター
（伊達市保原町字宮下111-4）
3. 出席者：別紙2のとおり（伊達市長・桑折町長・国見町長等が出席予定）
4. 公開等：（1）本座談会は公開としております。
（2）報道関係者の席を用意しております。
（3）一般の方で聴講を希望される方は、会場の都合により数に限りがありますので先着順とさせていただきます。

【パネル展】

- ・11月21日～11月30日 伊達市 保原中央交流館 ※保原市民センター隣
- ・12月3日～12月7日 福島県庁 3階渡り廊下
- ・12月10日～12月14日 桑折町 屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ！」
- ・12月15日～12月21日 国見町 道の駅国見あつかしの郷

※1月以降の開催場所等は調整中です。追ってご案内を予定しております。
※各開催場所での展示について、初日の午前と最終日の午後は搬入・搬出を行います。

共 催： 阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会
（一社）東北地域づくり協会
後 援： 阿武隈川サミット実行委員会

阿武隈川の直轄改修事業は平成31年をもって100周年を迎えます。
今年度は『100周年事業プレイベント』として各種取り組みを実施しております。

＜発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、郡山記者クラブ＞

＜問い合わせ先＞

■国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
TEL 024-546-4331(代表)

調査第一課長 古賀 博久(内線 351)

1. 開催時期

平成30年11月～平成31年2月 5地区に分かれて順次実施

2. 共催・後援

- 共催...阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会、(一社)東北地域づくり協会
- 後援...阿武隈川サミット実行委員会

3. 主旨

- 今年、平成10年8月末洪水及び9月台風第5号洪水による甚大な浸水被害が阿武隈川流域で発生した「平成10年災害」から20年の年にあたる。
- 「平成10年災害」を契機として実施した「平成の大改修」をはじめとした河川改修により治水安全度は上がったが、現在も未だ治水施設の整備は十分とはいえない。
- また、近年、これまでに経験したことがない雨が各地で多発する一方で、水害経験者の高齢化が進む地域や水害を経験していない世代が多く住まう地域もある。
- このため、「平成10年災害」を忘れてはならない教訓として次世代に語り継ぎ、大規模出水時の避難を含めた今後の対応について考えるきっかけづくりを目的として、座談会・パネル展を実施する。

4. 座談会実施地区

- 伊達地区(伊達市・桑折町・国見町)
- 福島・二本松地区(福島市・二本松市)
- 郡山・須賀川・本宮地区(郡山市・須賀川市・本宮市)
- 阿武隈川上流地区(鏡石町・泉崎村・中島村・矢吹町・玉川村)
- 白河地区(白河市・西郷村)

下線が開催場所

伊達地区 座談会 出席者（予定）

- 伊達市長
- 桑折町長
- 国見町長
- 福島県 県北建設事務所長
- 伊達市梁川町 五十沢自治会長
- 伊達市梁川町 五十沢自治会防災安全部会長
- 古川を考える会 会長（伊達市保原町 西町町内会長）
- 伊達市消防団長
- 桑折町行政連絡員連合会 会長（南郷町内会長）
- 桑折町消防団長
- 国見町町内会長連絡協議会 会長
- 国見町町内会長連絡協議会 理事（川内町内会長）
- 国見町消防団長
- 福島河川国道事務所長

以上